



第2回 第39回日本診療放射線技師学術大会 (39th JCRT)  
第30回東アジア学術交流大会 (30th EACRT)



# 熊本への道 Go To KUMAMOTO

実行委員長 緒方 隆昭  
(一般社団法人熊本県放射線技師会 副会長)



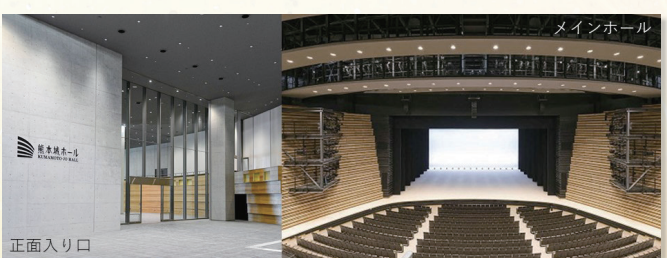
今後、このコーナーで熊本の魅力や観光案内があると思いますので、第2回は、皆さまをお迎えする会場について紹介します。第39回日本診療放射線技師学術大会の会場である熊本城ホールは、複合商業施設であるSAKURA MACHI Kumamotoに併設されています。熊本桜町バスターミナルに直結していて、熊本駅や阿蘇くまもと空港へはとてもアクセスの良い施設です。

熊本地震から6年を経て、熊本城をはじめホテルや商業施設は徐々に再開しています。陸の玄関口である熊本駅は、2021年4月に新駅ビルが開業して賑わいを取り戻し、空の玄関口である阿蘇くまもと空港も、国内線/国際線一体の新たな旅客ターミナルビルが2023年3月にリニューアルを控えていますので、来年の秋においでの際は新しい空港でお迎えます。

併設する複合商業施設の名の由来は、江戸時代、山桜が多かった“桜馬場”熊本城二の丸の一部に架かる桜橋にちなんでいて、熊本城の城下町として熊本県民に永く親しまれた由緒ある「桜町」という地名を冠する名称です。熊本城ホールはその施設の左奥に位置していて、3千人規模の大規模な学会がカーサで行える待望の施設として2019年11月にオープンした新しい施設です。



今回の学会は、Web参加者に対する配信コンテンツの充実を図りつつ、現地型学術大会の本格的な復活を目指したハイブリッド開催にしていきたいと考えています。渡航の再開に伴い30th EACRTも国内で再開され、たくさんの東アジアの方々がお見えになると期待しています。皆さまから要望の多い懇親会も再開します。以前のように、各県から自慢のお酒を持ち寄ってのにぎやかで楽しい宴を準備したいと考えています。



感染状況の悪化に伴い計画の変更を余儀なくされる可能性はまだゼロではありませんが、実行委員一同、計画通り成し遂げられると信じ、皆さまの記憶に残る素晴らしい学会になるよう鋭意準備してまいりますので、ぜひとも現地熊本にご参集賜りますようお願い申し上げます。

